

並行在来線に係るＪＲ東日本社長との面談結果

- 鉄道資産の譲渡価額は、当初想定額を大幅に圧縮（約52億円）
- 本県の試算によれば、ＪＲ東日本からの支援は、譲渡価額を上回る約64億円以上

- 1 鉄道資産の譲渡額（約52億円）
 - ・ 不要資産の除外、改修工事のコストダウン等により当初想定額（約82億円）を圧縮
 - ・ 加えて譲渡価額を上回る下記の支援を実施

- 2 ＪＲ東日本の支援策（64億円以上） ※金額は本県の試算による評価額
 - (1) えちごトキめき鉄道(株)に対する支援（約54億円）
 - ①車両譲渡
 - ・ 新潟支社管内では最新の車両（E127系10編成）に必要な改修を施した上で、低価格で譲渡
 - ・ 2両1ユニットの新型車両導入によりワンマン化が可能となるほか、検査費等も大幅に縮減
 - ②人的支援
 - ・ ＪＲ東日本からの出向社員に係る人件費を一部負担
 - ③鉄道施設整備
 - ・ えちごトキめき鉄道(株)による運行が円滑にスタートするように必要な既存鉄道施設の整備を譲渡前に幅広く実施
 - ④改修工事
 - ・ 直江津構内に車両の検査・修繕施設等を新たに整備するほか、ワンマン化や新型投排雪車導入に必要な地上設備の整備を実施
 - (2) 観光宣伝・キャンペーン（10億円以上）
 - ・ 北陸新幹線の開業に合わせた観光キャンペーンのほか、広域観光ルートの整備、重点販売地域指定等による宣伝効果

- 3 経営分離後の運行体系

新潟方面と並行在来線区間を結ぶ優等列車等（特急北越、快速くびき野）の存続等について、北陸新幹線の開業に向けて引き続き協議

鉄道資産の譲渡価額とJR東日本の支援策

当初想定額

